

STAGE+を楽しむ(148)(HP 収載)

—バッハ《ヨハネ受難曲》—

1. 始めに

前報(147)に引き続き、STAGE+のマルコンとラ・チェトラ・バロックオーケストラによるバッハの《ヨハネ受難曲》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、マルコンとラ・チェトラ・バロックオーケストラによるバッハの《ヨハネ受難曲》の演奏を選びました。

マルコンとラ・チェトラ・バロックオーケストラによるバッハ《ヨハネ受難曲》
エクサン・プロヴァンスの復活祭

ヨハン・セバスティアン・バッハによる受難曲の演奏は、美しいeks=アン=プロヴァンスで開催される復活祭において毎年恒例であり、ハイライトとなっています。2024年は《ヨハネ受難曲》が選ばれました。この曲はちょうど300年前の4月7日に初演されたもので、ドラマティックで強い印象を与える作品です。バロック音楽のスペシャリストであるアンドレア・マルコンの指揮のもと、ラ・チェトラ・バロックオーケストラとラ・チェトラ・ヴォーカル・アンサンブルが共演し、ソリストにも豪華な顔ぶれが並ぶ注目の公演です。

ソリスト:

フランセスク・オルテガ・イ・マルティ (バリトン)、シーラ・パチョルニク (ソプラノ)、ヤコブ・ピルグラム (テノール)、グリエルモ・ブオンサンティ (バス)、サラ・ミンガルド (アルト)、クリスティアン・ワグナー (バリトン)

演奏:

ラ・チェトラ・バロックオーケストラ・バーゼル

ラ・チェトラ・ヴォーカル・アンサンブル・バーゼル

指揮:

アンドレア・マルコン

曲目:

ヨハン・セバスティアン・バッハ ヨハネ受難曲 BWV 245



3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

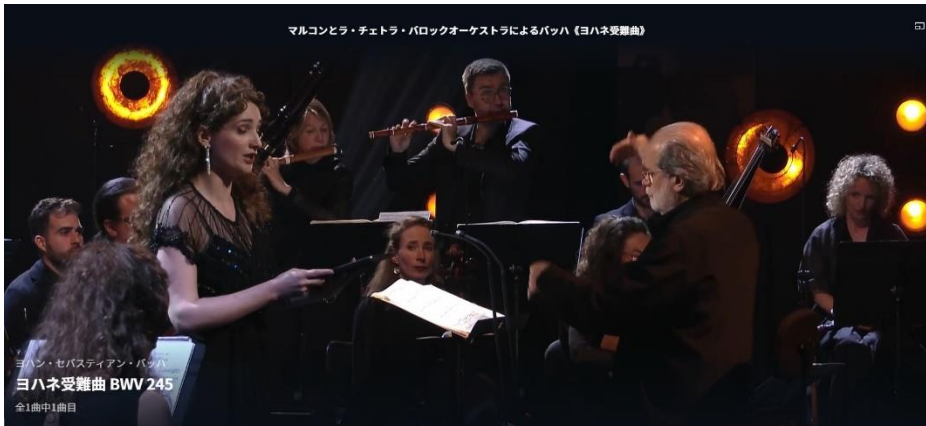
また、CDクリーナーの効果(9)で報告しましたようにPCのストリーミング再生において、PCの液晶画面とLAN iSilencer とルーター に対するCDクリーナーの処理を行っています。今回、スイッチングハブとルーターのLANポートにフェルトダンプ端子を装着しています。

バッハの《ヨハネ受難曲》は、《マタイ受難曲》、《クリスマスオラトリオ》、《ミサ曲口短調》などと並ぶ大曲です。

ラ・チェトラ・バロックオーケストラ・バーゼルとラ・チェトラ・ヴォーカル・アンサンブル・バーゼルの演奏は始めて聴くものですし、エクサン・プロヴァンスの復活祭の音楽祭も初めてです。

ソリストの歌唱では、ヴィオラ・ダ・ガンバが通奏低音を受け持っています。

ソリストの歌唱は力強く、合唱はよく協和と分離しており、ヴィオラ・ダ・ガンバ他の古楽器の質感も十分です。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、LAN ポートにフェルトダンプ端子を装着したことで、この大曲の表情を十全に捉えています。

以上